

浜松湖西豊橋道路等の都市計画の素案に関する説明会

1 とき 令和7年11月15日(土) 午前10時から午前11時20分まで

2 ところ アイプラザ豊橋 講堂

3 来場者 132名

4 出席者 豊橋市 都市計画部 都市計画課

 豊橋市 建設部 道路建設課

 愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課

 愛知県 建設局 道路建設課

 愛知県 東三河建設事務所 道路整備課

 国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 計画課

5 内容

1)挨拶

2)浜松湖西豊橋道路等における都市計画素案の説明について

3)質疑応答

【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
津波などによる浸水被害で使用できなくなってしまわないような計画にしてほしい。	ご意見として受け止めさせていただきます。
都市計画道路東三河環状線の整備が国道1号まで止まっているが、計画どおりであれば今後西側に延伸される。豊橋 IC(仮称)が整備されることにより増加する交通量の影響は考慮しているのか。	本計画にあたって、周辺道路に与える影響を調査しています。豊橋 IC(仮称)が県道東三河環状線に接続することで一定の交通量の増加が見込まれることから、接続する動植物園西入口交差点および東側の梅田橋西交差点は適切な構造に改良するよう計画しています。一方、本道路によって都市計画道路東三河環状線に大きな影響を及ぼすことは想定しておりません。
梅田川付近の高架橋の高さを教えてほしい。	地表面からおおむね7~9メートル程度となります。

本計画により周辺道路の渋滞が悪化すると推測される。23号拡幅ルート案に計画を変更することはできないのか。	平成30年から令和3年までに計画段階評価を実施しており、本西側ルート帯案や23号拡幅ルート帯案を含む3案から最も優れる西側ルート帯案を選定していますので計画の変更はありません。本西側ルート帯案が評価される点は「高速道路IC(インターチェンジ)までの移動時間の短縮」、「防災拠点までの移動時間の短縮」、「地域間交流の移動距離の短縮」、「市街地走行の安全確保」の4つです。
本計画の側道はどうなるのか教えてほしい。	側道は都市計画に定める施設に含めておりませんが、本計画により既設道路が分断されてしまう箇所については、迂回できるよう付け替えた道路を参考平面図で示しています。詳細は、今後事業実施段階において、関係機関や地域の皆さまのご意見を伺い検討します。
本道路の整備目標時期を教えてほしい。	現在は、都市計画手続の段階であり、整備目標は未定です。今後事業実施段階でお示します。
豊橋 IC(仮称)周辺の生活道路がどのように変わるか教えてほしい。	インターチェンジ等で分断される生活道路は基本的に付け替える予定ですが、都市計画手続の段階では計画に定めておりません。付け替える道路は、今のまま通した方が良いといった意見や、まとめて集約する方が良いといった意見など様々な意見があると思われるので、詳細は、今後事業実施段階において、関係機関や地域の皆さまのご意見を伺い検討します。
豊橋 IC(仮称)が南方向の県道東三河環状線に接続されるが、市街地からの利用を考えると北方向にもインターチェンジの入口を増やした方がよい。入口が複数あれば交通が分散する効果もあると思われる。	入口を複数にすると合流部が増加し、交通安全上望ましくないため、インターチェンジの入口は1か所で計画しております。また、豊橋IC(仮称)が接続する県道東三河環状線については、交通の状況を調査しております、適切な交差点となるよう計画しています。

雲谷町側のトンネル入口の位置を教えてほしい。	説明スライドおよび配布資料「都市計画のあらまし」を用いて位置を説明。
大崎北 JCT(仮称)周辺の渋滞や騒音対策を講じてほしい。	ご意見として受け止めさせていただきます。なお、騒音については、環境影響評価を実施しているところであり、詳細は今後の環境影響評価準備書の段階で説明します。
トンネル構造で計画されている区間について、高架構造とトンネル構造でどれくらい工期が変わるのであるのか。	工事期間は、詳細な地質調査等を実施してから検討することになります。都市計画手続の段階では地質調査の実施前となるため、工事期間の違いを回答することは困難です。
自動運転技術の活用の予定を教えてほしい。	自動運転技術は実験段階であり、道路インフラへの適用方法が確立されていないため、現段階では計画に定めることは難しいと考えていますが、今後事業実施段階において、これらの技術が確立された場合に、適用の方向性について検討することになります。
豊橋IC(仮称)周辺は、現在でも渋滞が多いが、なぜこの位置としたのか。周辺の渋滞対策はどのような検討をしているのか。	インターチェンジの配置については、交通需要および防災拠点へのアクセス性などを考慮し、総合的な視点で計画しております。本道路が周辺道路に与える影響を調査しており、豊橋IC(仮称)により一定の交通量の増加が見込まれる動植物園西入口交差点および梅田橋西交差点は適切な構造に改良するよう計画しています。
本計画の完成予定年度を教えてほしい。	現在は、都市計画手続の段階であり、整備目標は未定です。今後事業実施段階でお示します。
湖西市側の IC(インターチェンジ)はどこに位置するのか。	株式会社デンソー湖西製作所とトヨタバッテリー株式会社の北側に位置する計画で、県道太田中原線を豊橋市から湖西市へ向かっていく先あたりになります。

本計画と併せて飯村町周辺の渋滞対策を講じてほしい。	ご意見として受け止めさせていただきます。
トンネル構造となっている計画区間において、環境影響評価の結果によつては、トンネル構造から高架構造に構造変更する可能性はあるのか。どちらの構造にしても環境への影響は大きいと思う。	環境への影響については、仮にトンネル構造としなかつた場合、山を切り開くことで木を伐採したり、コンクリートで斜面を覆つたりと、動植物の生態系などへの影響が懸念されます。一方でトンネル構造とした場合は、そのような影響は低減するものと考えています。トンネル工事を進めた場合、途中で不具合が生じたとしても高架構造に変えることはできないため、事前に地質調査を行い、地層の状況を調べた上で、対策を講じながら実施していくことになります。

(説明会配布資料)

- ・浜松湖西豊橋道路(愛知県区間) 都市計画のあらまし